



No.118

平成14年10月20日発行

路材協会報

路面標示材協会

東京都千代田区神田佐久間町2-13(深津ビル)

〒101-0025

Tel (03) 3861-3656

Fax (03) 3861-3605

目次

道路交通安全(路面標示)に思うこと	理事 石野 憲男	1
高機能舗装と路面標示	高木 嗣朗	4
平成14年8月末(1~8月)道路交通事故統計	事務局	17
事務局便り		20
余滴		20



道路交通安全(路面標示)に思うこと

理事 石野 憲男

私は、理事に就任して2年目を迎え、気持ちも新たに、路面標示用塗料が交通安全に貢献出来るように協会活動を通じて微力ではありますが努力して参りたいと思っております。

近年の道路交通事故統計を見ますと、平成13年の事故による死者数は、8,747人で前年比319人の減少となりました。そして、今年の上半期(平成14年1月から6月)死者数も前年に比べ減少していると報告されています。

しかしながら、一方では、事故の発生件数や負傷者数は依然として増勢傾向にあり、大変厳しい状況にあります（平成13年の発生件数は947,169件、負傷者数は1,180,955人で、いずれも過去最高値）。

このような状況の中では、現状に則した道路交通事故の減少対策を更に強く講じることが必要であると考えます。道路交通においては、車両が安全・円滑に流れ、そして、人が安全に通行できる道路環境で「交通ルール・マナー」を守ることが大切と考えます。

我国は、道路交通事故の減少を目指して、5年ごと何次かにわたって色々な交通安全対策の総合的計画がたてられ、現在は特定交通安全施設等整備事業7箇年計画（平成8年～14年）や、交通安全基本計画（平成13年～17年）が進められており、関連諸官庁を始め、関連の方々も日夜努力されておられます。

そこで、私自身が常日頃（「ドライバーの立場」）感じていることにつき道路交通安全（路面標示）について、申し述べたいと思います。

一般道路や高速道路などを夜間走行していると路面標示の外側線（車道外側線）が有るところでは、歩道等との境界がはっきり視認出来て安心して走行する事ができます。

一方、外側線のないところは、やはり不安であり、車両の運転に神経を使います。

このような事に対し、夜間における外側線の効果についてアメリカでの参考報告があります。それによれば、「中央線だけがある道路」と、「中央線と外側線のある道路」を対象に自動車の走行状態を調査した結果、「中央線と外側線がある道路」では、自動車の走行分布が車線中央にあり、外側線がワイド（20cm巾）であるほどより効果（視覚効果）がある。一方、「中央線だけがある道路」では、自動車の走行ブレ（横ブレ）が大きく、外側を外れ、その反動で中央線を外れたケースもあったと報告されています。

また、夜間道路を走行している際、路面標示が磨耗して視認がよく出来ないところがあり、一寸気になります。適正な時期に塗替えられれば車両の安全通行につながるのではないのでしょうか。

我国では、路面標示の夜間視認性について現在も種々議論されていますが、適正な時期に塗

日本のフロント
ボンライ

SK 信号器材株式会社
〒211-8675 川崎市中原区市ノ坪160 ☎044(411)2191

替えることが重要であると考えます。

近年の日本社会は高齢化に移行し、また、生活対象も24時間化（夜型化）へと変化してきております。

従いまして、道路の交通安全環境の確保は、昼間は勿論のこと夜間における道路交通安全環境の確保が大変重要になる事は申すまでもありません。

道路の交通安全環境確保には、費用対効果が高いといわれている路面標示の「ワイド化（幅広化）」、「高輝度化」、「視認性の高い塗料」も一方法・手段と考えます。


私共は、「路面標示用塗料」の品質・技術向上と共に、環境にやさしい塗料（例えば、無鉛化など）の供給が出来るよう努力し、交通安全を目指したいと思っております。

どうぞ、関係諸官庁、並びに皆様方の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

参考資料

日本ガラスビーズ協会編：「交通事故の減少を願って」シリーズ2

（信号器材株式会社 本社営業部 部長）



ATOMIX

さらに一歩。
人と環境の共生に向けて。

アトミクス株式会社 (旧社名：アトム化学塗料株式会社)
本社／〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3111 FAX.03-3968-7300

高機能舗装と路面標示

高木嗣朗

1. はじめに

近時、道路舗装においては一般に“排水性舗装”又は“低騒音舗装”と言われている高機能舗装が、高速道路や幹線道路を中心に次第に普及し、その施工量は年々増大しつつある。普及の要因としては、当会報No97の「舗装の種類について」No102の「低騒音舗装（排水性舗装）」についてで既に述べられている通り、雨天時の車両走行におけるハイドロプレーニング現象や水はねの防止による走行安全性の確保、走行タイヤが雨水を霧状にするスモーキング現象の解消による視認性の向上、さらに、夜間雨天時の視認性向上などがあげられる。また、車両走行における騒音の低減効果も普及要因の一つであろう。

その中で、夜間雨天時の視認性というものは、路面標示の機能の良し悪しに直結するものであり、交通事故防止に多大な影響を与える重要な項目である。

路面標示材メーカー各社においても、高機能舗装に適した路面標示の開発に取り組んでおり、各地で施工されるまでに至っている。

そこで、高機能舗装の機能を維持できる新しい溶融型路面標示について、工法を中心に以下記述する。

2. 高機能舗装における溶融型従来工法の問題

高機能舗装は、骨材の粒径で細かいものを外して粗骨材を主体とし、通常舗装より空隙率を高くした舗装である。

そのため、路面標示における従来のスリット工法では、

- 骨材のすき間に塗料が流れ出し仕上がりのきれいさに欠ける。
- 通常舗装における施工に比べ、2倍前後かそれ以上の塗料が消費されてしまう。



神東塗料株式会社

スーパーミライナー

(雨天夜間高視認性標示材)

シントーライナー (溶融型)

シントーライナー (常温型, 加熱型)

S P ロード (すべり止め塗料)

本 社 〒661-8511 尼崎市南塚口町 6-10-73 (TEL (06)6421-9865)

東京本社 〒136-0082 東京都江東区新木場 4-12-12 (TEL (03)3522-2353)

- 空隙の奥に塗料が入り込んでしまうため、排水機能を阻害する恐れがある。
- 塗膜の厚さに大きなバラツキがあるため、散布ガラスビーズの埋まりに差ができ、均一夜間反射が得られない。又、交通開放時間が長くなる。
- 騒音低減機能が無い。
- すべり抵抗性は、密粒舗装上の路面標示と大差がない。
- 夜間雨天時の視認性は、塗膜が平坦なため、雨水が塗膜全体を覆い、密粒舗装上よりは若干向上するものの、不十分である。
- 塗膜が平坦であるため、昼間の視認性は比較的良好である。

以上のように、ごく一部を除いて高機能舗装上の施工であるがための不具合、高機能舗装の機能を十分発揮できない仕上がりなど、改善が望まれる項目を多く抱えている。

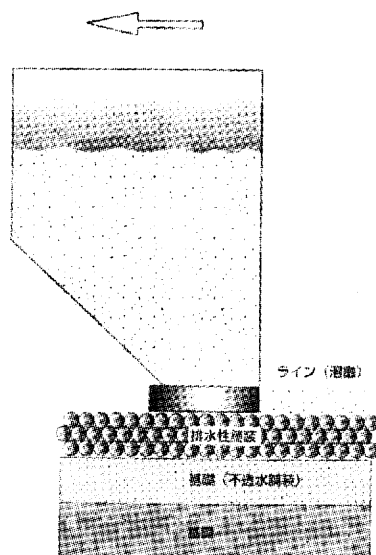


図-1 従来（スリット式）工法の施工略図

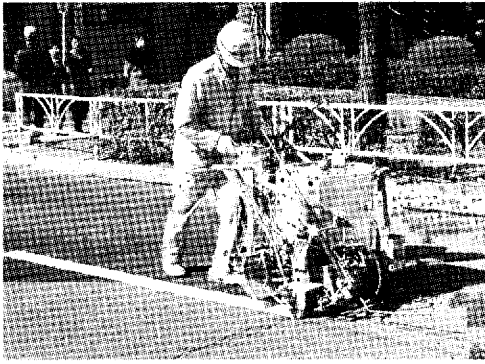
路面標示用塗料 3 種 [レンマーク] 製造

レンマーク工業株式会社

83年度中国通産局長表彰受賞
日本工業規格表示許可工場

〒731-1142 広島市安佐北区安佐町飯室字森城6864

TEL (082) 835-2511 (代)



手押し式



手引き式

図-2 従来工法施工状況

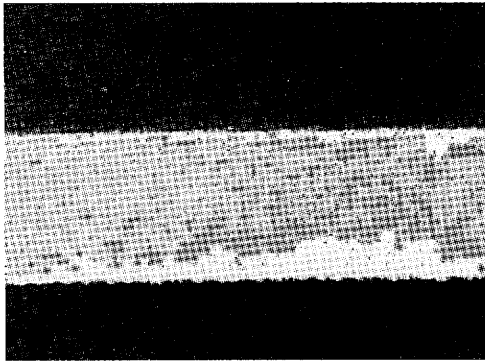


図-3 仕上がり塗膜

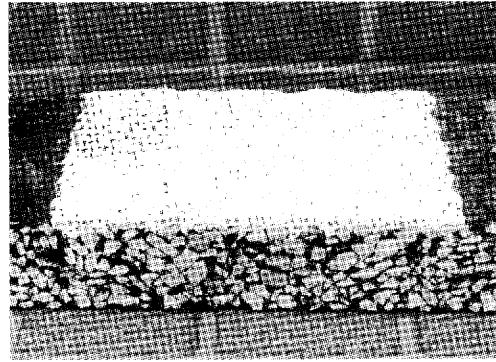


図-4 塗料の入り込み状況

3. 高機能舗装対応の路面標示

高機能舗装に適した路面標示が開発され、最近各地で施工されているが、ここでは、塗膜厚が一定で路面の凹凸形状を残した仕上がりになるタイプ（工法）について幾つかを紹介する。

路面標示用塗料

タイヨーライン（溶融型）

マークラインC2000（常温型）

マークラインH5000（加熱型）



太洋塗料株式会社

本社 〒144-0033東京都大田区東糀谷6-4-18 TEL03-3745-0111(株)
第2工場 〒144-0033東京都大田区東糀谷5-6-3 TEL03-3745-3921

(1) 噴射式工法

噴射式工法は、ブラシ、ロール等の2軸回転体（あるいは1軸回転体）の高速回転運動により、溶融した専用の塗料を粒状または霧状にして噴射し、噴き付ける工法である。塗料は路面の凹凸に関係なく一定量が噴射され、定速で施工するため均一な塗膜厚が形成され、高機能舗装の空隙が確保される。

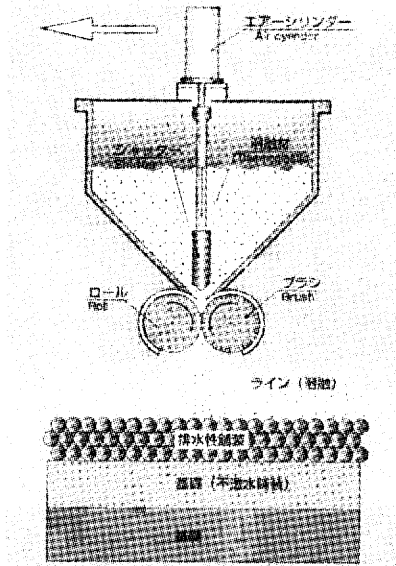


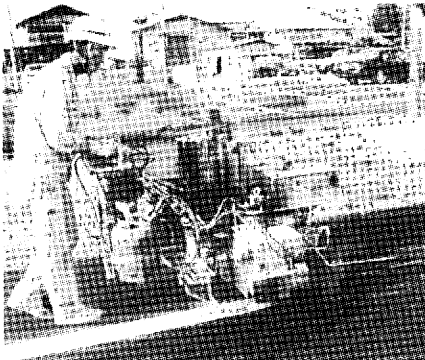
図-5 噴射式工法の施工略図

〔特長〕

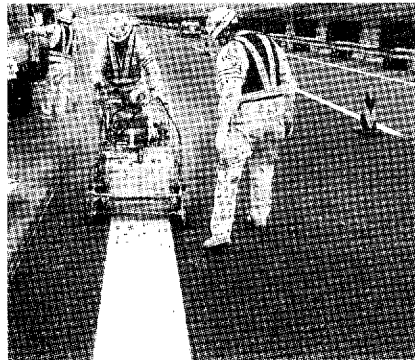
- ①空隙を確保して、高機能舗装の機能をそのまま生かせるため排水機能を損なわない。
- ②路面の凹凸に関係なく塗膜厚が均一であるため、散布ガラスビーズの埋まりにムラがなくなり、良好な夜間高視認性が得られる。
- ③路面の凹凸形状を残す仕上がりで、排水機能を確保しているため、夜間雨天時の視認性が良好である。

	に貢献する
	エースライン® 反射材配合の 溶融施工タイプ (JIS K5665適合品)
	ユニライン® 常温施工・加熱 施工タイプ (JIS K5665適合品)
日立路面標示・区画線用塗料	
日立化成建材株式会社 (営業本部) 〒113-0034 東京都文京区湯島3-31-6 ☎(03)5688-5330	

- ④路面の凹凸形状を残す仕上がりのため、高いすべり抵抗性が維持される。
- ⑤回転体の遠心力、反発力により溶融塗料を叩きつけるため、路面への接着力が向上する。
- ⑥騒音低減効果を確保できる。
- ⑦塗膜厚が均一であるため交通開放時間が早い。
- ⑧舗装の空隙に塗料の食い込みが少ないため、消去が比較的簡単。



手押し式（自走）



手引き式（自走）

図-6 噴射式工法の施工状況



図-7 仕上がり塗膜



図-8 塗料の入り込み状況

溶融式路面標示塗料

昭和三十九年四月二十八日 建設省告示第百九号
昭和三十九年四月二十八日 建設省告示第百九号

ラインファルト® 大崎工業株式会社

本社 〒593-8311 大阪府堺市上 8 9 番地
 TEL 0722-72-1453 (代)

営業所 〒144-0033 東京都大田区東糀谷 4-1-4
 TEL 03-3743-3004 (代)

(2) カーテンフローコート工法

吐出口の下に取り付けられた塗布用ローラーを回転させ、専用の特殊溶融塗料を規定塗布量、一定幅に制御して、カーテン状に流下塗布する。塗布ローラーは路面から一定の高さに保持されている。規定塗布量をカーテン状に塗布するため、高性能舗装の空隙へ塗料が進入することを防ぎ、排水機能を維持させる工法である。施工スピードが変化しても塗布量は一定となる機構になっている。

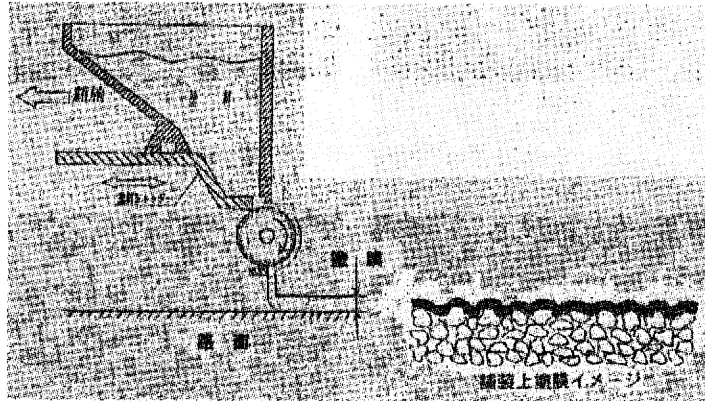


図-9 カーテンフローコート工法の施工略図

〔特長〕

- ①塗膜自体の透水機能はないが、高性能舗装の空隙へ塗料が流れ込むことを防ぎ、排水機能を損なわない。
- ②塗布量が一定で均一な塗膜が形成され、路面の凹凸を生かした仕上がりとなって、散布ガラスビーズが均一に固着されるため、良好な夜間高視認性が得られる。
- ③路面の凹凸形状を残す仕上がりのため、高いすべり抵抗性が維持される。
- ④塗膜が連続に仕上がるため、剥離が発生しにくく、耐久性に優れる。
- ⑤従来の施工機を部分改造するだけで対応できる。
- ⑥塗膜厚が均一であるため交通開放時間が早い。
- ⑦空隙に塗料の食い込みが少ないため、消去が比較的簡単。

高性能溶着式路面標示用塗料

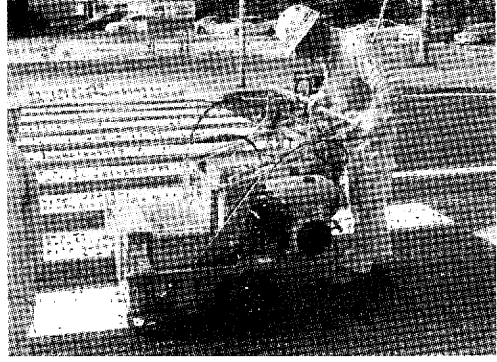
フジライク

藤木産業株式会社

〒592-8331 大阪府堺市築港新町2-6-50
TEL. 0722-44-5588(代) FAX. 0722-44-6639



手押し式（白走）



手引き式（白走）

図-10 カーテンフローコート工法の施工状況

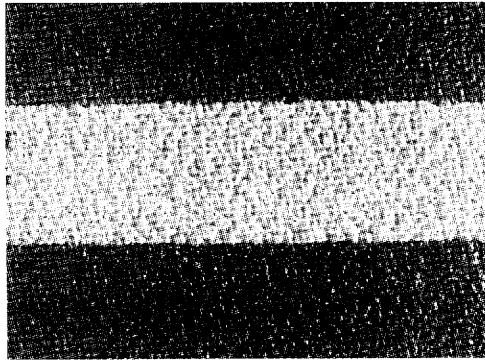


図-11 仕上がり塗膜

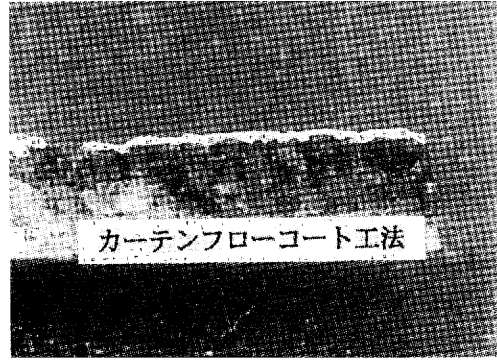


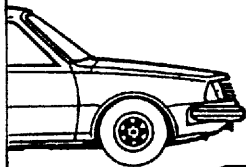
図-12 塗料の入り込み状況

（3）塗料流量制御工法

スリット部に流量制限体を設けて、施工機からの塗料流出量を制御する工法で、従来のスリット工法と同様に施工できる。路面の凹凸に応じた均一な厚さの塗膜を形成するとともに、凹部に排水穴を形成するため、高機能舗装の排水機能を確保できる。

各種塗料製造販売
道路標示材製造及施工

 **富国合成塗料株式会社**



フコサイツ

〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町3丁目7-19
(本社) TEL (078) 575-6600 (代)

〒651-2235 神戸市西区栢谷町長谷佃井南145
(工場) TEL (078) 991-0158

(支店) 大阪 (営業所) 東京・名古屋・豊橋・姫路

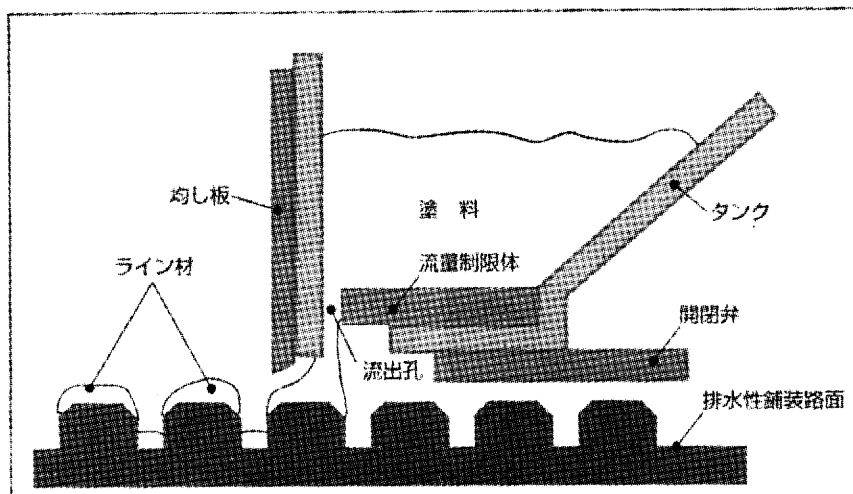


図-13 塗料流量制御工法の施工略図

〔特長〕

- ①舗装の凹部に排水穴を作るため、排水機能を損なわない。
- ②路面の凹凸に関係なく塗膜厚が均一であるため、散布ガラスビーズの埋まりにムラがなく
なり、良好な夜間高視認性が得られる。
- ③路面の凹凸形状を残す仕上がりで、排水機能を確保しているため、夜間雨天時の視認性が
良好である。
- ④路面の凹凸形状を残す仕上がりのため、高いすべり抵抗性が維持される。
- ⑤従来のスリット工法と同様に施工するため、作業性が良い。
- ⑥騒音低減効果を確保できる。
- ⑦塗膜厚が均一であるため交通開放時間が早い。
- ⑧空隙に塗料の食い込みが少ないため、消去が比較的簡単。

路面標示用塗料

非リブ式高視認性路面標示用塗料

アズマライン ハイグリップ

道路関連資材・交通保安用品全般

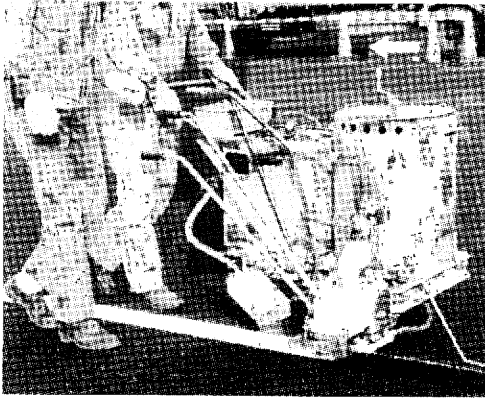
セイトー化成株式会社

本社・工場 〒421-0113 静岡県静岡市下川原3555番地

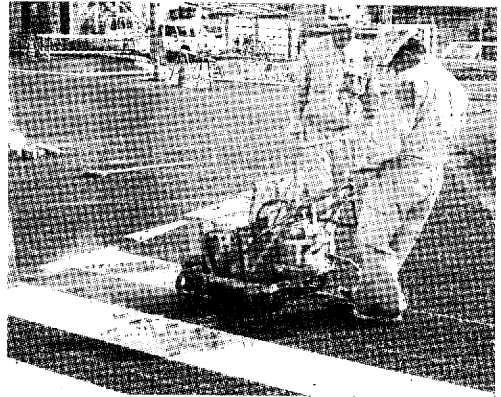
TEL 054-258-5561

支店・営業所

東京・大阪・九州・静岡・北陸・東北・北海道



手押し式



手引き式

図-14 塗料流量制御工法の施工状況

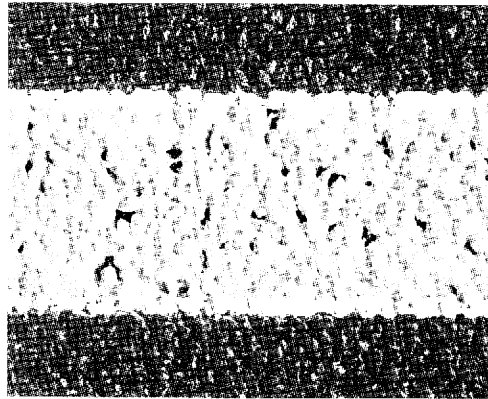


図-15 仕上がり塗膜

4. 高機能舗装対応の路面標示の問題点

ここまでは、従来工法に比べ優れた点を述べてきたが、従来工法より若干劣るところを次に幾つか述べてみたい。

路面標示用塗料

トアライナー

MR(溶融)・P(ペイント)

株式会社 トウペ

本社/堺市築港新町1丁5番地11 〒592-8331

☎0722(43)6419

支店/東京都中央区日本橋室町2丁目3番14号(古河ビル)

☎03(3279)6441(大代)

〒103-0022



(1) 摩耗

各工法とも路面の凹凸を生かした仕上がりとなるため、凸部でタイヤを支えることになり、平面で支える従来工法より凸部の骨材の露出が若干早い。

そのため、各社とも耐久性のある材料（塗料）を開発し、これに対応している。

(2) 朝、夕の逆光時における視認性

朝、夕の逆光時に走行すると、日差しがまぶしく、従来工法による標示においても視認性が悪くなる。それでも、高機能舗装上における従来工法の標示は、平滑な仕上がり路面の凹凸形状と差があるため、車の運転者から確認する事ができる。しかし、高機能舗装対応の路面標示では路面の凹凸形状と同一の仕上がりになるため、従来工法の標示に比べ識別しづらくなる。

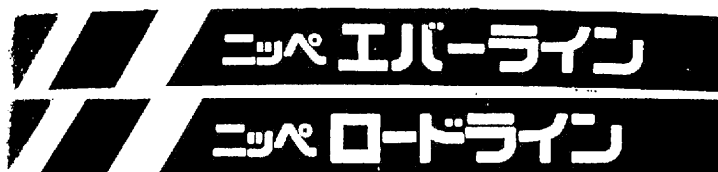


図-16 逆光時の高機能舗装対応の路面標示

(3) 強風時の施工

強風の下で路面標示の施工を行う事は、通常の施工においても保温バーナーの管理や散布ガラスビーズの散乱など、仕上がりへ悪影響を及ぼす。

「安全・円滑・快適」な道づくりを目指して



 **日本ライナー株式会社**

〒105-0014 東京都港区芝二丁目17番11号 パーク芝ビル
PHONE: 03-5419-9681 FAX: 03-5419-9688

路面に接地せず、離れた位置から流下、噴射するタイプの高機能舗装対応路面標示では塗膜自体が風に影響され、風除けの工夫はされているものの線形に不具合を生じる事がある。

以上の3項目が、この工法の特長が幾分マイナス面に作用しているものであると言える。

5. 高機能舗装上の路面標示の消去

高機能舗装上においても標示の変更に伴って消去を行う事になる。しかし、従来の機械切削工法による消去では舗装をひどく損傷するうえ、消去が不完全で塗膜を残してしまう。高機能舗装対応の路面標示は、スリッターによる従来工法より塗料が空隙に入り込まないため、路面の損傷度合いが少なく、消去しきれずに残る量も少ない。それでも機械切削工法で消去する限り、路面の損傷は避ける事ができない。

高機能舗装における消去については、以前に当会報No.108で紹介したブラスト工法が路面の損傷が少なく、消去も完全に行える方法であり、その中で超高压水を利用したウォーターブラスト工法が実用化され、各地で施工されている。

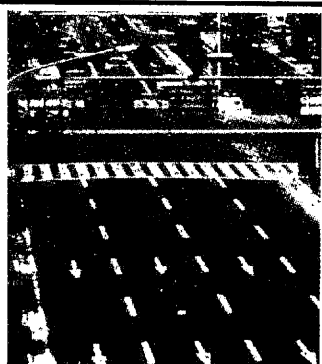
この工法は、超高压水発生装置から送られた超高压水を吐出ノズルから回転噴射することによって塗膜を粉砕し、剥離させるものである。剥離した塗膜は、同時に水と共に吸引回収される。消去による路面の損傷はほとんどなく、空隙を目詰まりさせないため、高機能舗装の機能を維持するのに適する。

ただし、施工システムとして高压水発生装置を積載した車両や、バキューム車等、比較的大きな車両を使用するため広い作業スペースを必要とする。従って、裏道や道路幅員の狭い“ハミ禁”の道路などでも車両の通行に支障の少ない様、装置の小型化が望まれる所である。

総合力でニーズにお応えする セキスイ道路標示材

- 溶融タイプのジスライン
- 感圧貼付シートのジスラインDX
- 加熱融着シートのジスラインS

道路標示材の専門メーカーとして
セキスイは豊富な経験と技術で
優れた製品を創り、交通安全に寄与しています。
耐久性・耐摩耗性・鮮明さは高い評価をいただいています。



交通安全・環境保全に貢献する

積水樹脂株式会社

本社

〒530-0047 大阪市北区西天満二丁目4番4号

(堂島閘電ビル6階) TEL 06(6365)3244

ジスライン

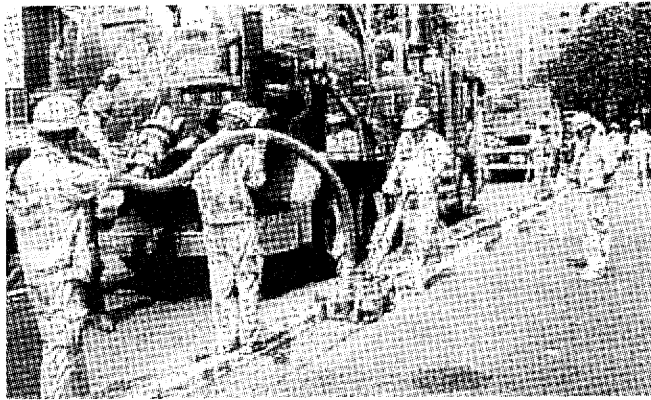
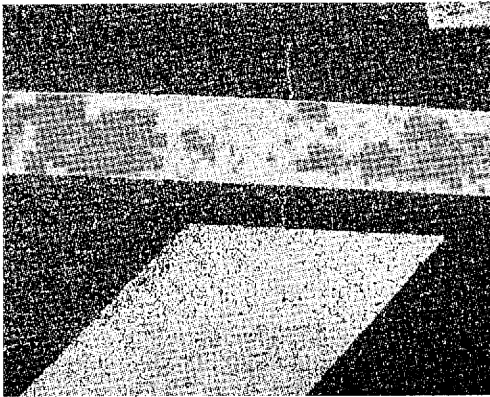
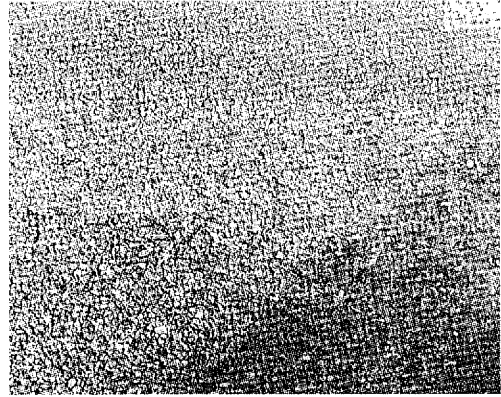


図-17 消去作業の状況



施工前



施工後

図-18 消去路面

21世紀にふさわしい
環境づくりに取り組む



路面標示用塗料(溶融用)

キクスイテック

キクスイ ペイント
(常温用・加熱用)

公共環境を表現する

株式会社キクテック

本社 〒457-0836 名古屋市南区加福本通1-26
TEL 052-611-0680 (代) FAX 613-3934

6. おわりに

以上、高機能舗装に適した路面標示について述べてきたが、これら以外に、下塗り材を用いて塗料の食い込みを防ぐ工法など、他にも高機能舗装用の工法が開発されていることもここに記しておく。また、今回紹介した各工法については、メーカーによって若干の違いがあると思われるが、それぞれの代表例ということでお許し願いたい。

高機能舗装に対応した路面標示としては、さらに改良、開発が進み、より簡便でより良い機能をもった材料、工法が今後も開発されると思われるが、現状においてもすべり抵抗性や雨天時を含めた夜間の視認性など、車両走行時における安全性に必要不可欠な機能を備えた路面標示として、高機能舗装の普及と共に一層発展していくことを望むものである。

また、これらの工法は、当然ながら、通常の密粒舗装においても均一な塗膜厚をもった路面標示として施工できるものであり、クラックや目地などの多い悪路面では交通開放時間を短縮でき、均一で安定した夜間反射の得られる有効な施工方法としてお勧めしたい。



図-19 夜間雨天時の路面標示の視認性比較

平成14年8月末(1~8月)道路交通事故統計

(警察庁交通局交通企画課資料より)

事務局

平成14年8月末の道路交通事故は、前年同期間に比べ死者数は減少しているが、発生件数、及び、負傷者数は依然増加している。

平成14年8月末(1~8月)までに発生した交通事故

区 分	件数・人数(1日平均)	前年同期比
発生件数	607,429(2,000)	+19(+0.0%)
死者数	5,281(21.7)	-212(-3.9%)
負傷者数	759,258(3,125)	-39(-0.0%)

状態別死亡事故

状態別	人 数	構成比(%)	前年同期比(人)
自動車乗車中	2,274	43.1	-147
歩 行 中	1,401	26.5	-21
自転車乗車中	628	11.9	+13
原付乗車中	486	9.2	-39
自二乗車中	481	9.1	-14
そ の 他	11	0.2	-4
計	5,281	100.0	-212

昼夜別死亡事故件数

昼 夜 別	件 数	構成比(%)	前年同期間比(件)
昼 間	2,519	49.7	-97
夜 間	2,546	50.3	-113
計	5,065	100.0	-210

この中で、道路形状別の事故件数を見ると、昼間は、交差点及び交差点付近の事故の割合が51.0%と夜間より高く、夜間は、単路での事故の割合が39.2%と昼間より高い。

都道府県別交通事故発生状況（概数）

1) 多いところ

「発生件数」

都道府県	件数	増減数
東京都	58,078	+717
神奈川県	44,683	-234
大阪府	41,237	+296
愛知県	35,949	-800
埼玉県	33,614	-44
福岡県	32,393	+267
兵庫県	27,979	+527

「死亡事故」

都道府県	死者数	増減数
北海道	292	-15
千葉県	254	-2
東京都	242	+17
神奈川県	238	+42
愛知県	235	-19
大阪府	216	+7
埼玉県	214	-32

「負傷者数」

都道府県	負傷者数	増減数
東京都	66,469	+402
神奈川県	54,171	-667
大阪府	50,154	+783
愛知県	44,798	-924
埼玉県	42,001	-106
福岡県	40,688	+496
兵庫県	35,013	+1,061

都道府県別交通事故発生状況（概数）

8月末

管区	都道府県	発生件数			死者数				負傷者数		
		14年	増減数	増減率	14年	増減数	増減率	順位	13年	増減数	増減率
東	北海道	17,925	-1,482	-7.6	292	-15	-4.9	1	23,039	-2,100	-8.4
	青森	5,781	-330	-5.4	68	0	0.0	29	7,323	-441	-5.7
	岩手	3,710	133	3.7	89	4	4.7	23	4,637	152	3.4
	宮城	8,152	296	3.0	123	24	24.2	19	10,447	228	2.2
	秋田	3,223	-117	-3.5	62	15	31.9	30	4,057	-174	-4.1
	山形	5,803	253	4.6	59	8	15.7	32	7,395	358	5.1
	福島	9,927	-115	-1.1	131	5	4.0	13	12,831	-7	-0.1
北	計	36,596	60	0.2	532	56	11.8	**	46,690	116	0.2
東	東京	58,078	717	1.2	242	17	7.6	3	66,469	402	0.6
関	茨城	16,094	-351	-2.1	212	-23	-9.8	8	20,645	-496	-2.3
	栃木	10,004	-144	-1.4	144	11	8.3	12	13,038	-266	-2.0
	群馬	12,310	-183	-1.5	127	16	14.4	17	16,112	-364	-2.2
	埼玉	33,614	-44	-0.1	214	-32	-13.0	7	42,001	-106	-0.3
	千葉	24,269	724	3.1	254	-2	-0.8	2	31,185	1,231	4.1
	神奈川	44,683	-234	-0.5	238	42	21.4	4	54,171	-667	-1.2
	新潟	9,514	54	0.6	131	-2	-1.5	13	11,928	-11	-0.1
	山梨	4,912	82	1.7	49	-12	-19.7	40	6,675	296	4.6
	長野	9,308	-133	-1.4	111	-6	-5.1	20	12,324	-261	-2.1
	静岡	26,386	-501	-1.9	167	-21	-11.2	11	34,089	-531	-1.5
東	計	191,094	-730	-0.4	1,647	-29	-1.7	**	242,168	-1,175	-0.5
中	富山	5,122	-99	-1.9	46	-5	-9.8	42	6,114	-239	-3.8
	石川	5,720	-291	-4.8	50	-14	-21.9	37	7,159	-359	-4.8
	福井	3,350	-105	-3.0	47	8	20.5	41	4,194	-31	-0.7
	岐阜	8,944	-447	-4.8	130	-9	-6.5	16	12,272	-756	-5.8
	愛知	35,949	-800	-2.2	235	-19	-7.5	5	44,798	-924	-2.0
	三重	7,739	-386	-4.8	131	-3	-2.2	13	10,325	-421	-3.8
中	計	66,824	-2,128	-3.1	639	-42	-6.2	**	84,862	-2,721	-3.1
近	滋賀	6,261	96	1.6	75	-12	-13.8	27	8,386	26	0.3
	京都	12,474	-74	-0.6	88	-16	-15.4	25	15,352	-302	-1.9
	大阪	41,237	296	0.7	216	7	3.3	6	50,154	783	1.6
	兵庫	27,979	527	1.9	197	-19	-8.8	10	35,013	1,061	3.1
	奈良	6,157	-53	-0.9	59	4	7.3	32	7,020	-124	-1.7
	和歌山	5,906	-75	-1.3	60	-5	-7.7	31	7,335	-92	-1.2
	近	計	100,014	717	0.7	695	-41	-5.6	**	123,260	1,352
中	鳥取	1,923	-116	-5.7	50	13	35.1	37	2,526	-131	-4.9
	島根	2,099	-97	-4.4	50	6	13.6	37	2,437	-79	-3.1
	岡山	13,990	2,396	20.7	103	-31	-23.1	21	17,615	3,001	20.5
	広島	14,573	365	2.6	125	-34	-21.4	18	18,559	405	2.2
	山口	6,562	-99	-1.5	89	2	2.3	23	7,997	-73	-0.9
中	計	39,147	2,449	6.7	417	-44	-9.5	**	49,134	3,123	6.8
四	徳島	4,470	38	0.9	43	-18	-29.5	44	5,612	64	1.2
	香川	7,370	-125	-1.7	55	-26	-32.1	36	9,148	-331	-3.5
	愛媛	7,406	-152	-2.0	76	-16	-17.4	26	9,236	-124	-1.3
	高知	3,541	5	0.1	34	-6	-15.0	46	4,214	17	0.4
四	計	22,787	-234	-1.0	208	-66	-24.1	**	28,210	-374	-1.3
九	福岡	32,393	267	0.8	212	12	6.0	8	40,688	496	1.2
	佐賀	6,803	-73	-1.1	57	2	3.6	35	9,075	5	0.1
	長崎	5,426	-11	-0.2	34	-16	-32.0	46	7,053	72	1.0
	熊本	8,324	88	1.1	90	-6	-6.3	22	10,915	221	2.1
	大分	4,944	-181	-3.5	45	-10	-18.2	43	6,551	-273	-4.0
	宮崎	4,996	215	4.5	59	-1	-1.7	32	6,303	222	3.7
	鹿児島	8,324	-331	-3.8	72	-15	-17.2	28	10,380	-253	-2.4
	沖縄	3,754	676	22.0	40	-14	-25.9	45	4,461	848	23.5
九	計	74,964	650	0.9	609	-48	-7.3	**	95,426	1,338	1.4
合	計	607,429	19	0.0	5,281	-212	-3.9	**	759,258	-39	0.0

注1 増減数（率）は、前年との比較である。なお、発生件数及び負傷者数は、前年概数との比較である。
 2 発生件数及び負傷者数は、概数である。

1. 委員会活動

- 1) 業務委員会は、路面標示用塗料 JIS K 5665 改正に伴い関係官庁に改正内容の理解を頂くべく「解説小冊子」を送呈する事とした。また、現在、関係官庁で採用されている路面標示用関連の仕様書について調査を行ない、路面標示用塗料の今後の技術・品質のレベルアップを図るべく推進する事とした。
- 2) 技術委員会は、路面標示用塗料 JIS K 5665 改正に伴い、10月以降「塗料の性能表」、「試験成績表」について、新 JIS に基づき発行する事を確認した。

2. 会員の異動

正会員関係

○積水樹脂(株)の当協会理事である武田 均氏は、執行役員道路都市環境事業本部副事業部長に就任されています。(7月)

賛助会員関係

○丸善石油化学(株)の連絡担当(窓口)は、山田治祥氏から池本克己氏(化成品部化成品グループリーダー)に変更されました(7月)。

余滴

G党、S党の皆さんおめでとうございます。

日本プロ野球の優勝チームは、Pリーグ西武ライオンズ、Cリーグ読売ジャイアンツに決まり、日本一は、西武ライオンズか、それとも読売ジャイアンツか、熱戦を期待しましょう。一方、デパート等で優勝セールが繰広げられ、各地で賑わっている。

この商戦による売上は大変な額で、その景気への好効果を、大いに期待したい。

秋の全国交通安全運動も終わり、道路交通安全への認識を新たにしている方が大変多いのではないのでしょうか。平成13年の道路交通による死者数は、8,747人と20年ぶりに9千人を下回った。これは、第7次交通安全基本計画の目標である平成17年までに年間の死者数を8,466人以下とする日標達成の一步と位置づけられる立派な業績だと思います。

しかし、交通事故による経済的損失額は、大きいと云われています。今年の交通安全白書を見ますと、平成13年度の内閣府調査(交通事故による経済的損失に関する調査研究)によれば、人身損失1兆7,269億円(47.3億円/1日当り)、物的損失1兆8,041億円(49.4億円/1日当り)、その他(事業主体各種公的機関等の損失)7,541億円(20.7億円/1日当り)であると報告されており、合計で4兆円強(117.4億円/1日当り)が損失している。大変大きな金額で有り、道路交通安全の重要性を再認識した次第です。

平成14年度は、特定交通安全施設等整備事業七箇年計画の最終年度であり、交通安全施設等の整備の充実化が更に図られることを願い、これからも、関係の皆様のご指導を賜りながら交通安全を目指して努力したいと思います。

(小林)